

平成29年4月25日発行

町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

No
182

和のまち



わたしが太子高校Jコーラス部です
歌を届けに参りました

太子町の家計簿……………P2

(平成29年度一般会計予算)

8人の一般質問 …………… P7 ～ P11

太子町!あれこれピックアップ♪ …… P16

～生き活きと今を生きる～



太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん

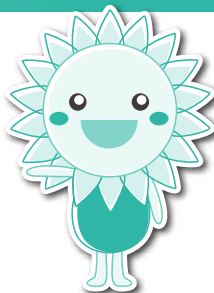
ふるさと納税を

活かせ!!

平成29年度一般会計

約**111億円**

太子町の家計簿



太子町の平成29年度予算(一般会計)111億3,376万6,000円を、太子町の人口34,292人(H29.3.1現在)で割り、町民1人あたりに使われる324,675円を家計簿にしてみました。

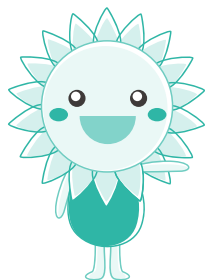
※先月の家計簿…平成28年度予算(一般会計)107億9,879万1,000円を、太子町の人口34,420人(H28.2.28現在)で割り、町民1人あたり313,735円としています。

収入(歳入)

平成29年度一般会計予算		たいしん一家の今月の家計簿		先月の家計簿
町税	39億7,259万0,000円	給料	115,846円	114,664円
地方交付税・交付金	23億9,010万0,000円	親からの援助	69,698円	70,842円
国・県支出金	22億5,710万2,000円	親からの援助	65,820円	71,585円
使用料・手数料など	5億3,371万9,000円	パート収入	15,564円	10,510円
町債	8億630万0,000円	ローン(借入金)	23,513円	29,483円
繰入金	11億6,395万5,000円	貯金の取り崩し	33,942円	16,360円
繰越金	1,000万0,000円	繰越金	292円	291円
合 計	111億3,376万6,000円	合 計	324,675円	313,735円

支出(歳出)

平成29年度一般会計予算		たいしん一家の今月の家計簿		先月の家計簿
人件費	14億5,552万4,000円	食費	42,445円	43,509円
扶助費	26億1,590万3,000円	医療費	76,283円	72,121円
公債費	9億3,991万8,000円	ローン返済	27,409円	25,704円
物件・補助費等	33億3,380万1,000円	電気代・保険料などの生活費	97,218円	96,413円
繰出金	17億9,575万6,000円	子どもへの仕送り	52,367円	50,123円
維持補修費	3,852万2,000円	車の修繕など	1,123円	1,032円
積立金	3億205万0,000円	貯金	8,808円	200円
普通建設事業費	5億9,918万2,000円	家の改築など	17,473円	23,050円
その他	5,311万0,000円	予備費等	1,549円	1,583円
合 計	111億3,376万6,000円	合 計	324,675円	313,735円



食費(人件費)・医療費(扶助費)・ローン返済(公債費)は「義務的経費」と呼ばれています。義務的経費が多いと、家計に余裕がないことを意味しています。太子町の平成29年度一般会計予算の歳出総額に占める義務的経費の割合は、約45%となります。

平成29年度一般会計 主な新規事業

- 中学3年生までの医療費完全無料化事業
- 子育て世代包括支援センター設置事業
- 町民体育館耐震改修事業
- 高齢者買い物支援事業
- 給食センター改築事業
- ファミリーサポート事業
- 学校園楽器等整備事業
- 避難所等井戸設置事業
- 太子山公園蒸気機関車塗装整備事業
- 壇特山展望台設置事業
- 文化会館空調制御御盤改修事業
- 創業支援事業
- クレジットカード収納事業
- 旧庁舎解体・改修事業

主な質疑答弁(抜粋)

● 高齢者買い物支援事業

問 老人福祉費で自動車購入費約440万円計上しているが、どのような車でどう活用するのか。

答 ふるさと納税を使用し、衝突防止機能やドライブレコーダーを搭載した7人乗りのワゴン車を購入する。立岡・蓮常寺・矢田部・東出・鵜(北之町を除く)以外の最寄りにスーパーがない地域で高齢者買い物支援事業を行う。試行期間として平成29年9月から平成31年3月を予定している。

● 保健福祉会館の駐車場整備

問 保健福祉会館の西側駐車場は車が止めにくいことから、改善を求められているが、どのように整備するのか。

答 西側駐車場680㎡について、今あるフェン

スと側溝等を取り払い、区画を普通車も止められるように整備する。



整備が待たれる保健福祉会館駐車場

● カラス対策の効果は

問 昨年末から鷹によるカラスの追い払いを試みているが、フン害が解消されていない。今後の取り組みは。

答 カラス約千羽を2羽の鷹で追い払うと分散化はしている。平成29年度も12月から2月の3か月で30回の予算を計上している。フン害による美化については、付近の住民や店舗に依存している。今後何ができるか考えたい。

審査意見(抜粋)

歳入

・ 収納率の向上や利便性を図るため、コンビニ収納や平成29年度から導入するクレジットカード納付(手数料約1%)等は、広報やホームページで住民に周知すること。

・ ふるさと応援寄付金は、お礼品のラインナップを充実させるなどして、長期にわたり続くように努めること。

歳出

各款共通事項

・ 時間外勤務は増加傾向がみられるため、職員のメンタルケアにも配慮しつつ、仕事量の適正化に努めること。

・ 各施設の更新・改修工事前に早期の点検を行い、修理費の削減に努めること。

総務費

・ マイナンバーカードの交付率を上げるためにも、各種証明書のコンビニ交付等の利便性をPRすること。

民生費

・ つくも荘は、老朽化や耐震性に不安が残るため、利用者に十分な説明を行い、早期閉鎖をすること。

衛生費

・ 受診しやすい環境の整備に取り組み、がん検診等受診率の向上に努めること。

商工費

・ 創業支援は、PRに努め、商工業者の育成、経済の活性化を図ること。

土木費

・ 雨水、急傾斜地、砂防対策は、関連部署や県に要請し、総合的かつ計画的に進めること。

教育費

・ 給食センター建設を計画通りに行い、給食が提供できない期間がないようにすること。

予算委員会委員

委員長	吉田 日出夫
副委員長	平田 孝義
委員	井村 恭子
委員	井川 淳子
委員	森田 芳昭
委員	吉田 眞一
委員	正之

暮らしの中に ある 条例

住宅ローン

減税延長

太子町税条例の一部改正

国の税制改革の一環として、個人住民税における住宅ローン減税措置の適用期限を平成31年6月30日から平成33年12月31日までの2年半延長する改正。

委員会審査P12参照

保険税の引き上げ

太子町国民健康保険税条例の一部改正

がんの特効薬やC型肝炎の薬など高額な新薬の登場により医療費が予想以上に伸びたため増額改定するもの。また税制改革大綱に基づき低所得者の保険税軽減措置対象と軽減割合を改正する。

施行日は平成29年4月1日。

委員会審査P13参照

図書館の

休館日変更

太子町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正

図書館を一層利用しやすいように、休館日を文化会館・歴史資料館と統一するなどの改正。

【図書館の休館日】

毎週火曜日

第1・3月曜日

← 4月1日より

毎週火曜日



太子町立図書館

委員会審査P13参照

平成29年度 特別会計・水道事業会計当初予算

会 計 名	予 算 額	主な内容
国民健康保険	40億5,767万円	(歳入) 国民健康保険税 6億6,660万円 (歳出) 保険給付費 24億2,547万円
介護保険	22億9,765万円	(歳入) 保険料 5億6,457万円 支払基金交付金 6億1,088万円 (歳出) 保険給付費 21億 150万円 介護サービス事業費 1,766万円
後期高齢者医療	3億8,556万円	(歳入) 保険料 2億9,508万円 一般会計繰入金 8,050万円 (歳出) 後期高齢者医療 3億6,916万円 広域連合納付金
墓園事業	1,455万円	(歳出) 墓園事業費 1,455万円
下水道事業	18億8,782万円	(歳入) 使用料及び手数料 4億5,672万円 一般会計繰入金 11億 709万円 (歳出) 下水道費 5億7,054万円 公債費 11億8,507万円

会 計 名	予 算 額	主な内容
収益的収入	5億3,211万円	営業収益 4億2,864万円 営業外収益 1億 348万円 特別利益 1万円
収益的支出	5億5,351万円	営業費用 5億2,405万円 営業外費用 2,341万円 特別損失 106万円 予備費 500万円
資本的収入	4億 10万円	工事負担金 10万円 投資有価証券 償還受入金 4億円
資本的支出	6億9,704万円	建設改良費 2億5,121万円 企業債償還金 4,583万円 投資有価証券購入費 4億円

平成28年度一般会計 補正予算(第6号)

7事業を 29年度へ繰り越し

繰越明許費(くりこしめいきよび)	
○個人番号カード交付事業	276万円
○福祉医療システム改修事業	118万円
○網干線外道路整備事業	5,034万円
○総合公園整備事業	8,200万円
○都市再生整備計画事業	1,200万円
○太田小学校屋内運動場照明改修事業	918万円
○石海小学校屋内運動場照明改修事業	1,242万円

※繰越明許費とは・・・
当該年度で使うことが期間的に難しい場合に、翌年度に繰り越しせざるを得ない場合に使う費用

歳出の主な補正

高齢者等住宅改造費助成金 109万円減額

日常生活に介護を要する高齢者等の住宅改造費用に対する助成(上限100万円)で、利用者が少なかったことによる減額である。

会計別の補正予算金額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額	主な内容
一般会計(第6号)	△3億4,347万円	117億3,948万円	決算見込みによる補正 他
国民健康保険(第4号)	△4,317万円	40億6,630万円	一般被保険者療養給付費の減額補正 他
介護保険(第3号)	△3,163万円	21億7,247万円	予防サービス費の減額補正 他
後期高齢者医療(第3号)	2,423万円	3億7,252万円	後期高齢者医療広域連合納付金の追加補正 他
墓園事業(第1号)	178万円	1,440万円	一般会計繰出金の追加補正 他
下水道事業(第3号)	1,978万円	20億3,842万円	雨水4号幹線枝線整備工事費の追加補正 他
水道事業会計(第3号)	1万円	5億3,439万円	職員手当等の追加補正 他

1月臨時会

1月30日

●主な内容

ふるさと応援寄付関連
5億1,344万
8,000円増額

本町へのふるさと応援寄付金がこれまでの実績等を考慮したところ、当初の予想を大幅に上回り、平成28年度分として5億6,000万円程度を見込み、返礼品関係経費の不足額を補正するもの。

返礼品代やインターネットシステムの利用料等を差し引いた3億6,000万円をふるさと応援基金に積み立てるもの。

あすかホール改修工事 2,592万円増額

大ホール調光器の経年劣化に伴う不具合が深刻化しており、舞台演出機器をレンタルしなければならぬ状況になっているため、急遽機器を更新するもの。

前処理場生活污水引抜 施設整備工事の変更 契約

調査の結果により、仕様変更する必要性が生じ、契約金額を1,085万円増額する。貯留槽など既存設備の劣化にともない、更新及び修復を行う。

補正予算金額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額	主な内容
一般会計(第5号)	5億3,937万円	120億8,295万円	ふるさと応援寄付謝礼の増額補正 他

人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて
大西正美氏を人権擁護委員に推せんすることを決定した。

監査委員の選任につき同意を求めることについて
蓮本了遠氏を監査委員に選任することに同意した。

どないなっとな!? どないするん?

質問者	質 問	掲載頁
吉田 正之	㊦ 太子苑地図混乱、しっかりとした説明を	P7
	㊦ 平成29年度予算における、町の方針について	
玉田 正典	㊦ 給食センターのあり方について	P8
橋本 恭子	㊦ 町長施政方針について	
中藪 清志	㊦ 地方自治法及び町条例に基づき、早期の副町長選任を求める	P9
	・ 財政力強化のために町のトップとして出来ることは	
森田 眞一	・ 中央公民館の廃止によって公民館活動に後退はないか	
	㊦ 安心して暮らせる町づくりについて	P10
平田 孝義	㊦ 町財政の現状と今後の見通しはどうなる?	
	㊦ 県立姫路循環器病センター、製鉄記念広畑病院の統合再編についてどうみる?	
井村 淳子	㊦ 平成29年度施政方針から、限られた財源を効率的、効果的に活用した予算になっているか?	P11
福井 輝昭	㊦ 大学誘致で太子町の活性化を!	

㊦マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録をご覧ください。



吉田 正之 議員

今後の公共工事
と財政規律の調
整は。
財政課長 厳し
い財政状況の現
在、税収、地方
交付税等の歳入
の不透明感が大

問 地図混乱解消に伴う費用負担は

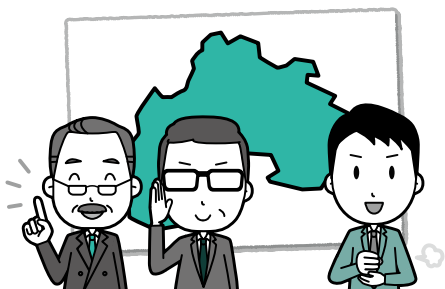
答 極力、国等に負担してもらおう

予算編成方針について

経済建設部長 集団和
解に要する費用は、地
権者にお願ひするが、
測量等の費用は国や県
の補助金を活用する。

吉田 地図混乱の解消
に要する費用負担は。

総務部長 地図混乱が
解消すると、土地が本
来の正常な評価額に戻
る。そのため現在より
も増額となる。
吉田 地図混乱が解消
しても固定資産税は、
増額にならないと地権
者は理解している。



財政課長 医療費無料
化事業は、医療費のう
ち自己負担分を助成す
るものであり、また、
国民健康保険税の増額
改定は、保険者の負担
分を補うために実施す
るものである。従って
両者に因果関係はない。

吉田 中学3年生まで
の医療費の無料化と国
民健康保険税の増税と
の因果関係は。

大きく、事業の先送り、
縮小や廃止等が検討課
題となってくる。

平成29年 1月臨時会議決結果

賛否の分かれた議案等

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」とします。
清原良典議長が欠席し、中島貞次副議長が議長の職務を行ったため、中島貞次議員に表決権はありません。
(地方自治法第106条)

議 案 名	賛 成	反 対	結 果	議員別賛否一覧													
				吉田	長谷川	玉田	中藪	堀澤	藤澤	首藤	福井	森田	平田	吉田	井川	井村	橋本
契約 工事請負変更契約の締結について(前処理場生活污水引抜施設整備工事)	13	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
				正之	正信	正典	清志	卓史	元之介	佳隆	輝昭	眞一	孝義	日出夫	芳昭	淳子	恭子
																	欠

全員賛成で可決・承認した議案等

議 案 名	
予算 一般会計補正予算(第5号)	契約 工事請負契約の締結について(太子町立南総合センター改築工事)

平成29年 3月定例会議決結果

賛否の分かれた議案等

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」とします。
清原良典議員は議長のため表決権はありません。

議 案 名	賛 成	反 対	結 果	議員別賛否一覧													
				吉田	長谷川	玉田	中藪	堀澤	藤澤	首藤	福井	森田	平田	吉田	井川	井村	橋本
28年度 予算 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	12	3	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
契 約 工事請負変更契約の締結(太子陸橋修繕工事)	13	2	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
29年度 予算 墓園事業特別会計予算	13	1	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
条 例 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	13	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○
同 意 監査委員の選任につき同意を求めることについて	10	4	同意	無記名投票										欠	無記名投票		
発 議 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	13	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○

全員賛成で可決・承認した議案等

議 案 名	29年度 予算	29年度 予算
一般会計補正予算(第6号)	水道事業特別会計予算	水道事業会計予算
介護保険特別会計補正予算(第3号)	条例	太子町情報公開及び個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		太子町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定
墓園事業特別会計補正予算(第1号)		職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定
下水道事業特別会計補正予算(第3号)		太子町税条例の一部を改正する条例の制定
水道事業会計補正予算(第3号)		太子町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定
一般会計予算		太子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
国民健康保険特別会計予算	諮問	太子町介護保険条例の一部を改正する条例の制定
介護保険特別会計予算		太子町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
後期高齢者医療特別会計予算		人権擁護委員の推せんにつき同意を求めること



中藪 清志 議員

「活力あるまち
づくり」とは

中藪 多額のふ
るさと納税があ
ったが、官民で
町を盛り上げよ
うという風土が

問 副町長人事について、早急な対応を求める

答 人選を行っているので、しばらく待ってほしい

中越 平成28年8月より副町長が不在であるため、町民の生活の充実、町の運営及び発展に支障が出る恐れがある。一時的に特別な状態であると思うが、地方自治法や町の条例で副町長を置くことが定められている。町政に空白を作らないために、早急に選任し定例会等で毎回提案することが住民へ責任を果たすことではないか。

芽生えたからではないか。新しい財源を確保し施策に反映させるべきだ。

町長 この制度でより多くの収入を得て、町民のために生かしたい。

中越 ふるさと納税だけでなく、職員のチャレンジする精神を反映する環境づくりや、官民連携の体制づくりを進め、財政力の強化に努めるべきだ。

総務部長 今後さまざまな施策を総合的に検討し、どうすれば財源が増えるのかを考えたい。



助成の考えは

森田 眞一 議員

森田 人家への
倒木被害が懸念
される急傾斜地
の立木に対し
て、伐採助成は
できないか。

問 雨水幹線を整備し水害対策を急げ

答 早期着手に努める

森田 雨水幹線整備について、平成29年度に事業箇所や整備方針を決定し平成32年度に解消工事完成を目指すところがあるが、冠水の状況が年々ひどくなっており、地域の住民に大きな不安をもたらしている。全体的にもっと早く進められないか。

経済建設部長 可能な限り早期着手に努め、方針決定が早くできれば雨水計画の変更設計まで進める。その後実施設計、整備工事を一連の工程として継続させ少しでも早い進捗を目指す。

人家裏山の立木伐採に
助成の考えは



町内浸水箇所

経済建設部長 基本的に所有者が適正に管理することが法で定められており、公平性や財産権の問題等から町では対応していない。ただ、色々な状況もあり今後基本を守りつつも、こういった助成ができるかを考えたい。

なお、立木が道路に張り出して、通行の妨げになった場合は、安全確保のため、道路管理者が緊急措置を行う。



玉田 正典 議員
「給食センター
整備見直し基本
構想」に、どの
ような検討が加
えられたのか。

問 給食センターの建替えは必要か

答 耐用年数が13年過ぎ、安全・安心な給食が提供できない

教育次長 現敷地で給食を止めずに建設することが可能かを検討し、建替え中のデリバリー給食についても問い合せたが、4, 100食を作る業者はなかった。

玉田 建替え候補地がなぜ町の一番端の最も低い場所になったのか。

教育次長 15カ所の候補地の中で最速に許認可を得て建設できる場所ということで決定した。また、浸水についても設計に加味すれば問題ないと考えている。

玉田 施設建設の見込み額はいくらか。



建て替え予定の給食センター

財政課長 財政運営は依然として厳しい状況であるが、引き続き節減に努めたい。

玉田 今後の財政運営には十分注意を払い、町民生活にしわ寄せがこないよう願います。

問 音楽の贈り物事業とは

答 ふるさと納税で楽器をプレゼント



議員 橋本 恭子
を育む学校教育の充実に向けた取り組みの新規事業として音楽の贈り物事業がある。児童・生徒の文化的な活動を応援するため、ふるさと納税を活用し、各学校園に必要な楽器を購入するとあるが説明を求める。

教育次長 楽器は一つ一つが高価なため更新が難しい。現在各学校園に備えつけている楽器は種類も少なく補修して使っている。平成28年度のあるさと応援寄付金の「未来を担う子どもたちを支援するために使つてほしい」という項目で、多く寄付をいただいている。平成29年度当初予算で楽器の購入費として、幼稚園に約210万円、小学校に約830万円、中学校

橋本 恭子 議員
橋本 生きる力を育む学校教育の充実に向けた取り組みの新規事業として音楽の贈り物事業がある。児童・生徒の文化的な活動を応援するため、ふるさと納税を活用し、各学校園に必要な楽器を購入するとあるが説明を求める。

	購入予定の楽器
幼稚園	ボンゴ・ティンパニ・平太鼓セット・キーボードなど約32種
小学校	ティンパニ・アコーディオン・マリンバ・ビブラフォンなど約18種
中学校	クラリネット・トランペット・フルート・コントラバスなど約24種

に約880万円を計上した。購入する楽器については、各学校園から整備状況と必要性について意見聴取を行った上で選定した。音楽を表現する力を広げるとともに、音楽のよさや楽しさを感じてもらい、豊かな心の太子づ子を育んでいきたいと考えている。



橋本 恭子 議員

橋本 生きる力
を育む学校教育
の充実に向けた
取り組みの新規
事業として音楽
の贈り物事業が
ある。児童・生



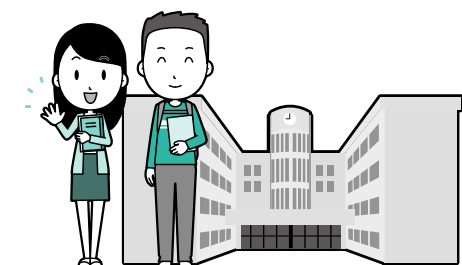
福井 輝昭 議員

福井 議員 総務部長 地域に大学があることと有用性は十分認識している。今後、若者人口が減少して

問 大学誘致で太子町に活力を!

答 近隣大学との連携で地域活性化を考えたい

福井 数年後には、JR網干駅北側が再開発され整備される。大学のある「まち」にふさわしい太子町の玄関口になる。多くの若者が太子町を行き交い、また暮らす、それだけで活力が出る。大学を核に新たな街並みも形成されるだろう。地域に根差し、地域とともにある大学は地域の問題対応力も強く、地域貢献、社会貢献において、地域社会における存在意義は大きい。大学と地域の連携による地域の活性化は、地方創生の新たな方向性を指し示すものではないか。大学誘致についてどのように考えているか問う。



福井 大学誘致による人口増の効果や経済効果は色々な分野に波及する。今後検討を。いく中、狭い町域であり、大学誘致のための適地も少ない。当町では、新たな大学の誘致は難しいのではないかと考えている。近隣に兵庫県立大学、姫路独協大学、姫路大学、関西福祉大学などの大学があるので、今後これらの大学と連携し、地域の活性化を図っていくことが得策ではないかと考えている。



平田 孝義 議員

問 健全財政を維持しつつ、住民サービスの向上を

答 堅実な財政運営に努める

平田 町財政の現状と今後の見通しについて。①医療費の増や少子高齢化対策に要する経費の増についての課題は。②給食センター、体育館の老朽化に伴う改築・改修について問う。

財政課長 ①※扶助費の増が町財政を厳しくしている要因の一つであると考えている。また、老朽化した公共施設等の更新と、新庁舎に係る負債、償還などにより、今後財政運営は今以上に厳しいものになる。

教育次長 ②築44年の給食センターは設備等の故障が多く、建て替えを計画している。築38年の体育館は、法定耐用年数が47年であるため、今回は耐震補強工事等を行い、建て替



耐震補強等をまつ町民体育館

えは見送ることにした。平田 社会福祉が今以上に後退なきよう求める。

新県立病院統合再編

平田 統合再編により閉院となる製鉄記念広畑病院が担ってきた医療機能確保の考え方は。

生活福祉部長 今後、会議が開催される中で、近隣市町や関係機関等と連携を図り、県の動向を注視して町として意見を述べていく。

※扶助費：法律に基づき、児童・高齢者、生活困窮者などを援助するための経費。児童手当、福祉医療費生活保護費など。

問 高齢者免許返納の特典は

答 県の制度はある。町も取り組みを進める



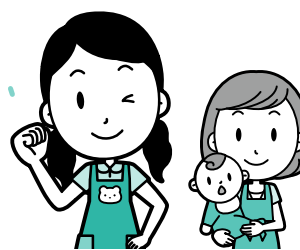
井村 淳子 議員

井村 平成29年度の町長の施政方針を問う。①※ゲートキーパーを養成するための研修の詳細は。

②子育て世代包括支援センターの環境整備とは。

③65歳以上の高齢者が運転免許証を自主返納した際の特典は。

④クレジットカード納付の取り扱いの税目及び手数料は。



生活福祉部長 ①外部講師に依頼し自殺のサインに気づくための方法、うつ病に対する理解、相談機関、傾聴の仕方について、全職員が研修を受ける。その

※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげる見守る人。

後は対象者を拡大する予定。②保健福祉会館に設置し、妊産婦等を支えるための産後ケア事業など総合的な支援体制の拡充を図る。③県では、企業や団体などが自主返納した高齢者に対して優遇措置を行っている。今後町内でも協力企業の取り組みを進める予定である。

総務部長 ④取り扱い個人住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税である。インターネットの専用サイトから、クレジットカードで24時間納税ができる。手数料は納付金額5千円までが税別50円で、5千円を増すごとに税別50円ずつ加算される。

※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげる見守る人。

あの時あの質問 一年前のあの答弁

1年前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡!

子育て世代包括支援センターの設置について、町の実現性を尋ねる。

答弁

当センターは、多くの関係機関が連携し、事業体系も多種多様で、所管も複数にまたがるため、地域の特性に応じたやり方を選択する必要がある。太子町ではどのような体制で実施していくか早期に方向性を定めていきたい。

その後



子育て世代包括支援センター窓口キッズコーナー設置

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的支援を提供するワンストップ拠点として、平成29年度から、保健福祉会館に子育て世代包括支援センターを設置する。保健師が全ての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要に応じ支援計画を策定していく。

◆総務常任委員会◆

人口減少対策は「オール太子町」で報告書まとめる

1月14日

課題調査

前回委員会の協議結果を受け、正副委員長で調整、作成した報告書案をもとに、次回委員会での完成に向け、文言訂正等の協議を行った。

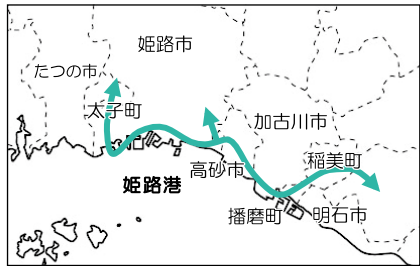
2月9日

課題調査

終了報告について最終確認を行い、一部文言訂正をし、3月定例会で終了報告を行うことを確認した。

◆委員会としての提言

①ベッドタウンとしての位置づけを維持するために、市街化調整区域の建築制限の一部を緩和する「特別指定区域制度」を活用していくこと。同時に、太子竜野バイパスま



県が提案する播磨臨海地域道路(案)

3月10日

付託案件審査

条例4件の審査を行い、いずれも全員賛成で原案を可決し、本会議へ報告した。

太子町情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

◆主な質疑応答

問 改正条例内で「情報提供等記録の訂正又は削除した場合の通知先の追加」とあるが、訂正とはどのようなものが想定されるか。

答 資格要件や住所等の情報にかかわる内容である。

問 改正条例内の「情報照会者」と「情報提供者」とは。

答 マイナンバーの利用について、法定事務

以外に独自利用事務が付け加えられたことにより、法定事務で「情報照会者」と言っているものを「条例事務関係情報照会者」、「情報提供者」と言っていたものを「条例事務関係情報提供者」と読み替える改正である。

職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

◆主な質疑応答

問 改正規定に当町で該当する職員はいるか。また特別職職員や嘱託職員にもこれが適用されるか。

答 再任用職員を含め、早出遅出勤務を現在申請している正規職員はいない。特別職職員や嘱託職員はこの規定に該当しない。

問 「要介護者」とは、介護保険の介護認定者のことか。

答 配偶者、父母、子、配偶者の父母が負傷、疾病によって日常生活をするのに支障を来して介護が必要な場合の者である。

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

◆主な質疑応答

問 改正条例内の「57日間」とは。

答 子の出生後に取得した育児休業が57日以内に終了した場合、同一の子について再度育児休業を取得することができるとあるが、母親の場合は産後休暇が8週間あり該当しないため、父親が育児休業をとる場合のことを指している。57日

間という日数は、法律で定められている。

太子町税条例の一部を改正する条例

◆主な質疑応答

問 住宅ローン控除制度の2年半の延長による住民税の減税の見込み額は。

答 住民税の減税分は、平成28年度の実績で804人、3,038万6,000円、平成27年度の実績で781人、2,749万2,000円である。将来的な見通しは立たないが、現在新築物件等が増加傾向にあるので、若干増になるのではないかと予測している。ただし、減税分は地方特例交付金で補てんされるので、町財政に対しての影響はない。

◆福祉文教常任委員会◆

認知症対策について幅広く普及・啓発に努めること！

1月11日

課題調査

本年度の課題調査項目である「認知症対策について」の終了報告に向けて、各委員より提出された意見を正副委員長でまとめた終了報告案をもとに委員協議を行い、意見があった箇所について、2月の委員会で最終確認することとした。

2月8日

課題調査

終了報告について最終確認を行い、一部文言訂正をし、3月定例会で終了報告を行うことを確認した。

◆委員会としての提言

①認知症に関する相談窓口や広報たいし



で掲載された記事、介護保険制度や成年後見制度等の内容をA3両面のリーフレット版に集約し、半期に1回程度継続発行するなど、認知症に

関して、幅広く普及・啓発に努めること。

②認知症の正しい理解を広めるため、認知症サポーターの養成に努めること。また、

認知症対策における支援や協力を得るために産官学の連携に努めること。

③タッチパネル式などの気軽に利用できる認知機能チェックプログラムを健康診断等で使用し、必要に応じて専門医や介護予防教室を紹介するなど、早期発見、予防促進すること。

3月9日

付託案件審査

条例5件、特別会計予算4件の審査を行い、いずれも全員賛成で原案を可決し、本会議へ報告した。

太子町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例

◆主な質疑応答

問 条例の改正内容について広報等で周知する必要があると思うが。

答 平成29年6月30日までに65歳の誕生日を迎えており、現在対象になっている方は引続き福祉医療費の支給対象になる。今回の改正は、対象者の判定等が複雑で、広報等で周知することは混乱を招く恐れがあるため、7月1日以降に65歳にな

り、新制度の対象になる方には個別で案内をする。

太子町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

◆主な質疑応答

問 館内整理日は月の末日が休館日の場合、その「翌日」であったが、今回の改正で「前日」とした理由は。

答 「翌日」の場合、整理日が月初めになる場合があるが、「前日」とすることで月1回の整理日が確保出来るようになる。

平成29年度国民健康保険特別会計予算

補足説明

平成29年度の歳入見込みが、歳出見込みに対して約8,500万円不足するため、財源

調整として基金から約4,400万円、一般会計から2,000万円を繰り入れ、残りの2,100万円については、保険税率の引き上げによって補うこととした。

◆主な質疑応答

問 なぜ一般会計から繰り入れるのか。

答 国民健康保険については、国民全体で支える必要がある。今回、歳入と歳出の差額が非常に大きかったため、やむを得ず不足分の一部を一般会計から繰り入れることにした。

平成29年度墓園事業特別会計予算

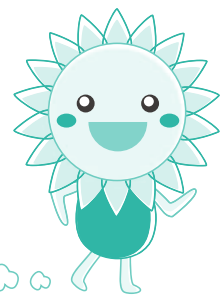
◆主な質疑応答

問 門扉設置工事費が計上されているが、その内容は。



門扉設置予定の墓園(メモリアルパーク)

答 シカによる墓石が倒される等の被害を防止するため、現在墓園の周辺をフェンスで囲う対策をとっているが、進入路からシカが侵入し、被害が後を絶たない。そのため、進入路に門扉を設置するための予算である。



◆経済建設常任委員会◆

創業支援で町おこしを！

1月10日

課題調査

創業支援事業計画の概要について産業経済課より説明を受け、その後質疑応答を行った。

●主な質疑応答

問 創業ステーションの設立等、創業支援計画を推進していくための構想はあるのか。

答 新年度早々に町、商工会、NPO法人ひと・まち・あーと、日本政策金融公庫とで協議していく。

問 兵庫県が選定している成長期待企業に対しても創業支援をしていくのか。

答 長期的に見てメリットが感じられる場合

は、助成することも今後考えていきたい。

2月14日

課題調査

終了報告について最終確認を行い、一部文言訂正をし、3月定例会で終了報告を行うことを確認した。

●委員会としての提言

①国家戦略特区の規制緩和はとて有益で魅力的なものであり、創業や観光等の分野をさらに研究して前向きな検討を行っていくこと。
②当町単独での町おこしが困難であっても、他市町との連携を図り、相互が相乗的に活性化していく方法について検討を重ねていくこと。
③「創業ステーション

ン」のような、創業者が気軽に相談できる窓口の充実や、情報提供・金融支援が重要であり、また創業後の販路開拓や人材確保等、経営について相談できる窓口の充実に努めること。

3月13日

付託案件審査

町道路線の認定、特別会計予算2件の審査を行い、いずれも全員賛成で原案を可決し、本会議へ報告した。

町道路線の認定

●主な質疑応答

問 宅地開発により袋小路道路となってしまうケースについて、業者に對し、町はどのように指導しているのか。

答 県の開発基準により、通り抜けできるように指導はしている。



町道路線現地確認

問 道路わきの溝蓋にクラックが入っているが、その対応は。

答 クラックからの浸水を防止するため、止水性のあるコーティングを施す措置を考えている。

問 一般会計からの繰り入れに頼っており、下水道使用料の値上げ等も心配されるがどう対応していくのか。

答 雨水対策の投資事業内容や平成30年度からの地方公営企業法適用後に、今後10年間の経営戦略を立てていく。

平成29年度水道事業会計予算

●主な質疑応答

問 水道使用料が、平成27年度決算から比較すると減額になっている理由は。

答 各家庭の節水意識の高まりや節水機器の普及により、水道使用量が減っていることによるもの。

問 今後の水道ビジョンについて、水道事業の広域化は考えているのか。

答 今後近隣の水道事業者とも十分に検討していく必要がある。

問 退職給付費について、負担金と引当金が計上されているが、二重計上にならないのか。

答 地方公営企業会計制度上、退職手当組合に加入していても引当金を計上する必要がある。

問 配水施設改良費の老朽管更新事業について、管路の更新時期が迫っているが今後の計画は。

答 平成28年度から、1期を5ヶ年とし4期20年かけて管路の耐震化並びに更新計画を立てている。

◆議会運営委員会◆

議会のペーパーレス化を目指して

2月13日

タブレット端末導入に向けた調査・研究のため、先進地である篠山市を視察した。

●主な質疑応答

問 タブレット端末導入によるメリットは。

答 ノートパソコンと比較すると、持ち運びがしやすく、起動にかかる時間が短い。

問 タブレット端末導入による効果と課題は。

答 情報共有のスピード化、議員活動の充実（膨大な資料の携行、保管）、ペーパーレス化による負担の低減（一部）等が挙げられる。課題について



篠山市行政視察

は、各会議での活用展開（執行部側との調整、メモ機能の向上、ネット活用のルール化等）、議員間のICTスキルの格差解消等が挙げられる。

委員の意見

・現状では予算的にタブレット貸与をすぐ開始することは難しいかもしれないが、膨大な資料を瞬時に閲覧できること、住民への情報提供の迅速化、議事

◆広報広聴常任委員会◆

読んでもらえる議会だよりへ

1月23日

広報誌面の充実、編集技術の向上を目指し、議会広報研究会が神戸市の六甲荘で行われた。

藤本百男県議会副議長（県議会広報委員長）をはじめ3名の講師により、「広報紙を通じて議会づくり」を基調とした講義を受けた。

2月6日

西播磨3町議会全員で研修

第5回西播磨3町議会合同議員研修会が、太子町役場にて開催された。

兵庫県西播磨県民局光都農林振興事務所辻内郁夫所長を講師に招き、西播磨地域の「農業振興」と「農村活性化」を目指してをテーマに講演いただいた。

また、パネルディスカッションのパネリストとして、当町広報広聴常任委員会委員長が、広報編集にかかる課題等について報告をし、見出しの効果や有用性や表紙の大切さ、インパクトのある写真を意識して撮影すること

今回の研修内容を今後の議会運営や委員会活動に生かし、よりよい「太子町」となるよう努力していくこと、そして、上郡町、佐用町、太子町が以上に情報交換を行い、議会の活性化に努め、「まちづくり」に貢献していきたい。



災害対策室での研修の様子



パネルディスカッションの様子

など活発な意見交換を行った。

太子町! あれこれ ピックアップ♪



生き生きと
今を生きる

随筆家

赤松 愛子氏

お目にかかった瞬間、
明るくパワフルという印象を受けました。

いただいた名刺に「半
どん播磨の会 会長」と

あり、伺ったところ播磨
地域で芸術文化活動を行
う人が集う団体で、「半ど
ん」とはまさに午前の業
務が終わり午後から休み
という意味で、気ままに
集まり情報交換などをす
るそうです。

ももとは物書きでな
かったといひます。はじ
めは神戸新聞にエッセ
イを依頼され4年間連
載したのがきっかけで、
本格的に随筆を始めた
のは退職後、当時の随筆
家協会会長に誘われ入
会し、毎月1話書き溜め
たそうです。

自分の歴史は「広坂も
のがたり」を書くための
ものであったような運命
的なものを感じるとおっ
しゃっていました。決し
て口外してはならぬと伝
えられた口伝の歴史がこ
のように世に出ようとす
るのは、時代の流れの中
ですべての「間」がここに
揃ったからだ。



赤松 愛子氏

半どん播磨の会 会長
随筆文化推進協会『随筆につぼん』会長
元兵庫県立こどもの館館長
(略歴)

1931年兵庫県太子町に生まれる。
戦後復興期の教育現場に約20年間勤務の後、兵庫県庁に入り、県教育委員会を
経て、福祉部児童福祉課長となり、県立こどもの館の館長を最後に、平成6年
3月定年退職する。
退職後は、各種委員や講師として活躍するほか、文筆活動を続け、平成10年3
月日本随筆家協会賞を受賞、随筆家としてデビューする。現在は『グレイス
ステージ あかまつ』のオーナーとして、文化芸術活動の日々を送っている。

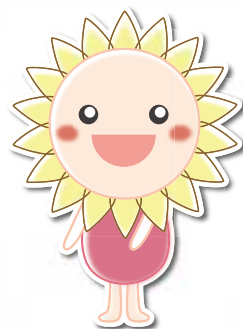
6月定例会予定

- ・6月 1日(木)【第1日／提案説明】
- ・6月 2日(金)【第2日／一般質問】
- ・6月 6日(火)【第3日／議案質疑】
- ・6月16日(金)【第4日／討論・採決】

議会傍聴に お越しください!

◆お知らせ

6月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場
合がありますので、正式日程はホームページまたは議会
事務局までお問い合わせ下さい。



あなたの「声」を
お聴かせください

議会だよりを読んでのご感想など
お聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

編集			
◆ 広報広聴常任委員会			
委員長	堀	卓史	
副委員長	平田	孝義	
委員	井村	淳子	
井川	芳昭		
玉田	正典		

編集後記

新年度が始まり、新社会人、
新入生が初々しくスタートを
切りました。
私の好きな季節がやってま
いりました。
街並みも桜色の景色にな
り、皆さまも桜にこだわって
色々とお楽しみされていること
と思います。
私どもも、議会の中では々々
非々とこだわりの持ちてやっ
ていけたらと、この時期考え
るものです。
(井川 記)